

せいわにし

学校だよ!

令和7年6月10日(火)

伊賀市立成和西小学校 No. 6

伊賀市大内624番地

<http://www.iga.ed.jp/seiwanishi-e/>

～平和について考える学習「人形が見てきたこと 伝えたいこと」～

5月28日(水)、「平和について考える学習」をしました。今年は戦後80年の節目の年となります。

講師として岩脇 彰さんに来ていただき、花垣地区市民センターで大切に保管・展示されている「青い目の人形エリザベス・ハイネ」についての話を聞きました。岩脇さんは、県内で小学校の教員をしながら、三重県の歴史や戦争遺跡について、調査・研究をしてこられました。そして、退職後も各地や各学校で講演活動をされています。全校児童を対象に、岩脇さんから次のような話を聞きました。

1 98年前の人形交流

成和西小学校の花垣地区には、とても貴重な人形があります。「エリザベス・ハイネ」です。1927年にアメリカから贈られた人形で、今98歳です。服は、アメリカでの手作りです。アメリカでは「友情人形」と言いましたが、日本では当時流行していた歌から「青い目の人の人形」と言われました。

人形のプレゼントを思ついたのは、シドニー・ギューリックさんです。その頃、日本とアメリカの仲が悪くなっていたので、人形で子どもたちをつなげたいと願いました。ギューリックさんに協力したアメリカの方々が贈ってくれた「青い目の人の人形」は12,000体で、ひな祭りに合わせて日本に贈られました。三重県には200体が届き、伊賀市では小学校に13体贈られ、各地で人形の歓迎会が開かれました。

また、日本では渋沢栄一が中心となって、58体の答礼人形を作り、1927年のクリスマスにアメリカに贈りました。三重県からは「三重子」が贈られ、県内各地と伊賀でも送別会が開かれました。

人形の「三重子」に添えて、県内からお礼の手紙が送られ、217通の手紙がネブラスカ州の博物館に保管されています。伊賀市からの手紙は11通あり、花垣のものもあります。

2 戦争と人形

ところが、その後、日本とアメリカとの間で、ついに戦争が始まってしまいました。かわいがられていた「青い目の人の人形」は「敵の人の人形」として、こわされたり、焼かれたりしました。しかし、校長先生や他の先生が、だれにも見つからないように隠して守った人形もありました。「エリザベス・ハイネ」を守った人は、だれなのか、はっきりわかっていません。(※裏面へ)



3 今も広がる人形交流

人形は、花垣地区と成和西小学校の「たからもの」。人形を通して友情と平和を学べます。アメリカの人たちともつながれます。ギューリックさんの孫のギューリック3世は、1986年に来日した際、祖父のしたこと知って感動し、それから「新友情人形」を日本へずっと贈り続けられています(314体)。三重県にも4体贈られています。2027年は、「エリザベス・ハイネ」が来てから、ちょうど100年になります。

~体力テストをしました~

5月27日(火)、全校児童で体力テストをしました。子どもたちの現在の体力を把握し、体力向上をめざすため、毎年実施しています。体育館で反復横跳び、立ち幅跳び、上体起こし、長座体前屈の4種目と、運動場でソフトボール投げをしました。子どもたちは、それぞれの種目に一生懸命取り組んでいました。縦割り班で行動したので、6年生児童が班のメンバーを上手に先導し、記録係もがんばりました。また、上級生の子が下級生の子を優しく補助していました。50m走、シャトルラン、ソフトボール投げの3種目は、各学級の体育の時間に行います。



~「伊賀FCくノ一三重」の選手と一緒にスポーツに親しもう!(学校アウトリーチ事業2025)~

6月4日(水)、伊賀市文化都市協会の事業で、「伊賀FCくノ一三重」から3名の選手が成和西小学校に来られました。子どもたちがスポーツに親しむことを目的として様々な楽しい運動を教えてもらいました。

はじめに1・2年生が、「増えおに、氷りおに、フラフープくぐりリレー、ボールはさみリレー、だるまさんが転んだ」をしました。「だるまさんが転んだ」は、全員で手をつないで前進し、選手の方が投げたボールが空中にある間は動けるというルールでした。とても楽しくて、たいへん盛り上がりました。次に3・4年生が、「ホイッスルの数だけ集まろう、フラフープくぐりリレー、ボールはさみリレー、だるまさんが転んだ」をしました。ボールはさみリレーでは、途中からボールが1個増えましたが、子どもたちは落とさずに上手に運んでいました。くノ一の選手の皆様には、たいへん楽しい時間をつけていただき、ありがとうございました。



【お知らせ】伊賀市におきましては、何らかの理由で現在学校に登校できない児童については、

伊賀市教育研究センター(ふれあい教室)への登校等、個々に応じた支援に努めているところです。

三重県及び伊賀市がフリースクールを利用する児童生徒への支援事業を実施していますので、

お知らせします。(※本日配布いたしました別紙をご覧ください。)